

2018年10月14日



世界マリアニスト祈りの日



ラ・バンの聖母

ベトナム クアンチ省



Conseil Mondial de la Famille Marianiste – World Council of Marianist Family

Consejo Mundial de la Familia Marianista マリアニスト家族世界評議会

1. ベトナムに於けるカトリック信仰の初期段階



カトリックの信仰は 16 世紀にヨーロッパ人宣教師たちによってベトナムに伝えられました。ベトナム王朝年譜によれば、Lê Trang Tông 王の治世下、Nguyễn Hoa 時代の 1533 年に、キリスト教禁止令が出されました。その禁止令は一人のヨーロッパ人、“イグナシオ” の名を挙げており、彼は船で上陸し Nam Chân (今のナムディン) 地方の Ninh Cường と Quỳnh Anh の村々で宣教をしていました。記録には彼の修道会の名は記されていませんが、イグナシオはおそらく一つの修道会に属していたと思われます。

その禁教令から判断して、福音は 1533 年以前にベトナムにて伝えられていたと推測されます。宣教師たちはベトナムの国中を行き来していました。彼らはヨーロッパの様々な国からベトナム近隣の国々、すなわちフィリッピン諸島、マラッカ、マカオ、日本などを經由してベトナムに来ました。彼らは種々の修道会、つまりイエズス会 (SJ)、ドミニコ宣教会 (OP)、フランシスコ会 (OFM)、そしてパリ外国宣教会 (MEP) に属しており、彼らにはヨーロッパの商人たちが同行していました。

2. 信仰が試される迫害の時期

福音の種はヨーロッパの人々の新しい商業的事業(貿易)の波に乗ってベトナムに蒔かれました。最初は、西欧の文化と宗教は問題なく、そして時には好奇心を持って受け入れられました。しかしそれからは、西欧の宗教を信じる者は彼らの伝統的な習慣を否定し、宮廷に対して忠実でない、という誤解のために迫害が起こり、4 世紀にわたり 3 つの王朝の下、数多くの人々が逮捕され、投獄され、そして殺害されました。13 万人ものベトナムのカトリック信者があらゆる拷問と苦しみにも勇敢に立ち向かい、自分たちの信仰を守るためにその血を流しました。

しかしテルトゥリアヌスの言う“殉教者の血はキリスト教信仰の種です”との言葉は、ベトナムの状況において真実であることをあらためて証明しました。ベトナムのカトリック信者の数はますます増加しました。ベトナムに於ける最初の神学校は 1665 年に設立され、その神学校から最初の三名のベトナム人司祭、Joseph Trang 師(1668 年 3 月)、John Huệ 師と Benedict Hiên 師(1668 年 8 月)が叙階されました。これらベトナム人神父たちとヨーロッパ人宣教師たちの熱意のお蔭で、福音の種は日々、ベトナム社会の“畑”に蒔かれ、多くの実を实らせました。

19 世紀の初め、ベトナムのカトリック教会は 32 万人の信徒、119 人のベトナム人神父、15 人の宣教師と 3 人の外国人司教で構成されていました。絶えることのない信者の増加と同時に、福音宣教の幅広い発展は、最初のベトナム人司教の叙階を実現させ、John Baptist Nguyễn Bá Tông 師が 1933 年 6 月 11 日、聖ペトロ大聖堂にて教皇ピオ 11 世によって Phát Diệm の継承権を有する協働司教に任じられました。

3. ラ・バンの聖母マリア

1798年に聖母マリアがベトナムのラ・バンという小さなジャングルの村でカトリック教徒の小さなグループに現れた事実は、神の母マリアのなかり方を知っている人たちにとっては驚きではありません。聖母マリアはその子供たちに対して常に恵みをもって応えてこられました。

一つの迫害の時期の成り行きとして、1785年にかなりの数のベトナムのカトリック教徒がたくましい森林関係者でさえ立ち入るのを躊躇するジャングルで隠れ場所を見いだしました。彼らは信仰を実践するために、生活必需品の欠乏、危険そして病気に苦しみながらそこに身を隠していました。毎日夕暮れにロザリオを唱えることが彼らにとって自分たちの数少ない慰めの一つでした。



そのようなある日の夕方、神秘的な耀く光に照らされ、近くに立っている御子イエスを抱いているマリア様を見て彼らは怖れましたが、直ぐに喜びに満たされました。彼らは単純な人々でしたが、その中のある人たちは聖母マリアとその御子であると分かりました。聖母マリアが、彼らの苦しみと汚れた水による彼らの慢性的な病について十分に承知している、と彼らに優しく話しておられる間、彼らは皆聴き入り、喜びに満たされました。聖母は、近くに生えているある葉っぱを集めて、それで強いお茶を作るように、と彼らに言われました。これがこれから彼らを健康にすることになります。彼女は厳かにつけ加えました。“この日以降、この場所で唱える全ての祈りは聞きとどけられ、願いは叶えられます。”これは1798年のことでした。

聖母マリアの出現後ほどなくして、人々は逃れていた迫害が終わったことを知りました。殆どの人たちは彼らの家に戻りました。彼らは自分たちが見た聖母マリアの出現について多くを語ることは出来ませんでした。この奇跡の知らせは広がりました。

1820年頃、仏教徒さえも聖母マリアの約束を信じ、聖母マリアが現れた場所に最初の小さな霊廟、パゴダを建てました。間もなく、これら仏教徒たちはキリスト教に改宗し、彼らの小さな霊廟はラ・バンの最初の聖マリア教会となりました。信徒たちは、ベトナム人が繰り返し直面した圧政と苦難の時期に、この場所での信心で慰められ、勇気づけられました。



激しい反キリスト教迫害の時期の1885年に、ラ・バンの聖堂は燃やされ、一人の司祭、Philip Minh 師（今は福者 Philip）が斬首されました。これら迫害の合間に小康状態があり、燃やされた聖堂の代わりに新たな聖堂を建てる仕事が始まりました。物資の輸送は大変難しく、必要な資金も不足していましたが、ラ・バンの聖マリア大聖堂の建設は何とか進展し、大聖堂は1901年“信徒の保護者、聖マリア”の名で捧げられました。ベトナム全教区の代表者会議が招集され、ラ・バンは東南アジアの数多くの信心深い人々にとって巡礼地の一つになりました。

1961年の聖母マリア集会の間に、ラ・バンの新たな聖マリア大聖堂がフエの Peter Ngo Dinh Thue 大司教によって献堂されました。この時、大司教は南ベトナムのカトリック信者に、自分は今でも北の共産主義ベトナムの信者からメッセージを受け取っており、彼らはラ・バンの聖母マリアがいつの日か共産主義の迫害者たちから自分たちの国を開放してくださると信じて、決して諦めることはないと言っている、と伝えました。

ベトナムは数多くの殉教者の地です。幾世期にもわたって、熱心な修道者、学者、リーダー、そして貧しき者たちが聖母マリアに深い敬意を表してきました。

4. ベトナムに於けるマリアニストの生活と使命

2005年以來、日本管区のマリアニスト・シスターたちはベトナム人志願者を受け入れ、彼女たちは日本でその養成コースを受けてきました。今では12名のベトナム人シスターと5名の修練者が日本管区に属しています。2011年の管区会議はマリアニスト・カリスマの種を新たな土地に蒔くよう要請しました。それで日本管区は日本に於ける創立70周年を機にベトナムに新たな共同体を開設することを決定しました。2017年9月12日、“マリアのみ名の祝日”に3名のベトナム人シスターがベトナムに派遣され、新たなマリアニスト共同体が誕生しました。

✦ 使 命:

- ーベトナムでマリアニスト・カリスマを生き、深め、広めること
- ー創立者たちの精神に従い、神と聖マリアを知らせ、愛させ、仕えさせること
- ー新しい志願者を迎え、マリアの宣教者となるよう養成すること
- ー地域教会と協働して、養護ホームの高齢者や孤児の訪問のような国の福祉活動に参加すること

✦ 課 題:

- ーベトナムにおいてマリアニスト・カリスマを深く消化・吸収すること
- ー他者にマリアニスト・カリスマを伝達することを学ぶこと
- ーマリアニスト家族の様々なグループとの関係を発展させること
(現在、ベトナムにはただ FMI だけ、つまり、私の共同体しかありません)
- ーマリアニストの使命を人々が分かりやすいかたちで実践すること
(共産党が宗教活動を厳しく規制しています)

5. 祈りの意向

1. 祈りの意向:

- ✧ 教会一致とエキュメニズムのために祈りましょう。
- ✧ 諸宗教間の和解のために祈りましょう。

「また、彼らのためだけでなく、彼らの言葉によってわたしを信じる人々のためにも、お願いします。父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。」（ヨハネ 17・20～21）

2. 祈りの意向：

✧ 世界平和のために祈りましょう。

✧ 国々の指導者たちがすべての人々を大切にできる仕方を知ることができるよう祈りましょう。

「彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣をあげず、もはや戦うことを学ばない。」（イザヤ 2・4）

3. メール・アデルの列福を神に感謝して：

✧ 各々のマリアニスト家族のメンバーが創立たちの精神をもって生きていきますように祈りましょう。

✧ 世界中のマリアニスト宣教者のため、またマリアニスト家族への召命のために祈りましょう。

「全世界に行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」（マルコ 16・15）

4. 祈りの意向：

✧ 教会及び社会の希望である若者たちのために祈りましょう。彼らが教会及び世の中の兄弟姉妹に惜しみなく、献身的に奉仕しますように。

✧ すべての人々が家族生活の中でお互いに愛し合い、尊敬し合いますように。

「親愛なる若者の皆さん、若者のマリアは、まさにその若さゆえに、大切な使命を託されました。若者の皆さんはエネルギーに満ちた人生の時期を生きる時、活力に満ちています。まず皆さんの周囲の現実から始めて、その力とエネルギーを世界をよりよくするために使ってください。わたしは教会の中で皆さんに重要な責任が委ねられるよう望みます。すなわち、教会が勇気をもって皆さんにその機会を与えますように、そして皆さんもその責任を引き受ける準備をするよう望みます。」

（2018年3月25日「世界青年の日」の教皇フランシスコのメッセージ）

5. アジアのキリスト者の信仰生活のために祈りましょう。

「あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」（ヨハネ 13・34～35）



ベトナムのカトリック教区図

1. ハノイ教会管区： 10 教区
2. フエ教会管区： 6 教区
3. ホーチミン教会管区： 10 教区